

Pepper (ペッパー)

プログラミング教育ワークショップ

ソフトバンクの人型ロボット「Pepper (ペッパー)」の動く仕組みを学ぶ、特別授業。専用ソフト「コレグラフ」を使って、実際に Pepper を動かしてみよう。

10
(水) / 4

10
(水) / 11

10
(水) / 18

時間

15:00～16:00

場所

ONE STEPはやきた児童センター図書室

対象

- ・小学4年生以上
- ・ローマ字入力ができること
- ・3回すべてに参加できること

内容

- ①プログラムって何？ ※3人で1台のPC、6人で1台のPepperを動かします
- ②プログラムで Pepper を動かそう
- ③自分たちが作ったプログラムを紹介しよう (プレゼン)

持ち物

筆記用具

参加費

無料

定員

先着12名

申込方法

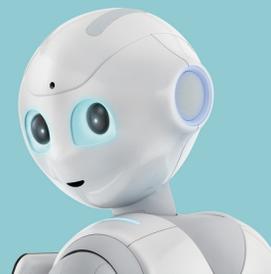
9月23日(土)午後8時から申込み受付開始
下記QRコード(申込みサイト)から申し込んでください
※先着12名ですが、小学6年生から優先的に受け付けます。



【申込み】
9/23(土)
午後8時から
(先着12名)
9月25日(月)まで

Pepper
社会貢献プログラム

Presented by ソフトバンクグループ(株)



※プログラミング教育はソフトバンクグループ(株)のPepper社会貢献プログラムとして実施します。
※当日は、BitStar(ビットスター株式会社)の協力によりプロのプログラマーが講師として参加します。
※当日撮影の写真等は新聞・ニュースなどで使用する可能性があります。

プログラミング教育について

はやきた子ども園では、ソフトバンクグループ（株）の協力により、小学生を対象にしたプログラミング教育のため Pepper を 2 台×3 年間、無償で借りています。

2020 年度から小学校でのプログラミング教育が必修となりますが、パソコンや携帯電話の操作を学校の授業だけで覚えたわけではないのと同様に、プログラミングも学校の授業だけでプログラムが作れるようになるのは難しいと思っています。

そこで、放課後、ONE STEP に Pepper と PC があり、いつでも自由にプログラムが作れたり AI やロボットに触れられる環境があれば、自宅に PC 等がなくてもプログラミングに関する知識や技能を高めることができるのではないかと考えました。

しかし、いきなり Pepper や PC を子ども達に与えても使い方がわかりません。そこで、今回、プログラミング教育を実施し、プログラミングの基礎を教えることにしました。今回は初めてのため 12 名限定ですが、今後、継続的に行い、希望する子ども達が皆、プログラミングについて学べるようにしていきたいと思っています。

ICT は地方が有利

はやきた子ども園の広報誌「チーズ便」にも掲載しましたが、今年に入り全国から視察者が多く来園しています。その際、教育内容もそうですが ICT 環境に驚かれる方が多いです。現在の子ども園（学童/児童館含む）の ICT 環境は以下の通りです。

- ・入退館は生体認証（指紋認証）管理
- ・4 歳児と 5 歳児は電子黒板。黒板機能の他、ネット閲覧、写真投影が可能。
- ・ビデオ会議システム導入（ソフトバンクエナジー協賛）により、おいわけ児童館と連携（今後、他市や海外との通信も検討）
- ・保護者への連絡はメール配信および毎日の様子を写真でアップ
- ・プリントの回収はなく、Web 回答による自動集計。
- ・保護者の費用支払いは電子マネー。（現金処理による管理コスト削減）
- ・先生達は一人一台 ipod touch を持ち、写真、動画、システム、検索などがすべて可能。

1990 年代までは、情報は都市部に行かなければ入手できませんでした。しかし、情報化社会に伴うインターネットの普及により情報入手は都市部も地方も変わらなくなりました。また、ICT を活用した技術やサービスも都市部と地方の格差はなくなりました。一方、都市部は都市化により自然を失いました。安平町には豊かな自然が残っています。ICT 化は、地方の方が断然有利です。馬と Pepper が両方いる子ども園や児童館は東京にはありません。地方の豊かさを持ちつつ最先端の情報環境に触れることができる。自然と ICT の共存が必要になるこれからの社会では、地方が最先端モデルになると思います。